

2009. 5. 2

作曲家シリーズ

歌謡性と叙情性

ロマン派の先陣作曲家 シューベルト

プログラム

今回は31年という短い生涯の間に600曲以上の歌曲と交響曲、室内楽、器楽曲等100曲以上の作品を残した初期ロマン派の代表的作曲家、シューベルトを特集します。作曲の速さや楽想の豊富さからモーツァルトに比較されることもありますが、歌謡性の強い美しい旋律や流動的な叙情性はシューベルトならではの個性です。そんな魅力を感じることでできる「即興曲」やピアノ五重奏曲「ます」、歌曲に加え、「未完成交響曲」の前後に位置する2曲のハ長調交響曲もシューベルトのまた違った一面を聴き取ることができます。「ザ・グレート」と呼ばれる第8番は男性的な力強い表現力と叙情性とが見事に融合した偉大な交響曲、方や第6番は絶妙に変化するリズムの妙と軽やかな音楽の流れが絶品です。今日はシューベルトの魅力に浸ってください。

フランツ・シューベルト (1797~1828):

劇音楽“ロザムンデ”序曲

ニコラウス・アーノンクール指揮ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団
(1993.1.8 ベルリン、フィルハーモニーホールでのLive)

即興曲D.899 ~ 第3番変ト長調

フリードリッヒ・グルダ (ピアノ)
(1993.7.31 フランス、モンテペリエでのLive)

即興曲D.899 ~ 第4番変イ長調

マレイ・ペライア (ピアノ)
(1993.9.30 ウィーン・ムジークフェラインザールでのLive)

交響曲第6番ハ長調D.589 ~ 第1楽章から、第3楽章から、第4楽章

ミラン・ホルヴァート指揮スイス・イタリア放送管弦楽団
(1983.6.10 スイス・イタリア語放送ホールでのLive)

*** 休憩 ***

ピアノ五重奏曲イ長調D.667 “ます” ~ 第1楽章から、第3楽章から、第4楽章、第5楽章

スヴャトスラフ・リヒテル (ピアノ) /
ボロディン弦楽四重奏団員 / ゲオルク・ヘルトナーゲル (ピアノ)
(1980.6.18 ホーエネムス城の騎士の間でのLive)

歌曲“野ばら” D.257 / “春への信仰” D.686

ペーター・シュライアー (テノール) / アンドラーフ・シフ (ピアノ)
(1991、サントリーホールでのLive)

交響曲第8番ハ長調D.944 “ザ・グレート” ~ 第1楽章から、第2楽章から、第4楽章

カール・ベーム指揮ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団
(1978.9.9 ベルリン、フィルハーモニーホールでのLive) ~ 第1楽章から、第2楽章から
(1972.9.12 ベルリン、フィルハーモニーホールでのLive) ~ 第4楽章